

記事解禁日：解禁日は特にありません

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release



平成30年11月26日
国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所

子どもたちが遠賀川について自ら考え・調べたことを発表します！

～もっと知ろう！私たちの遠賀川シンポジウム2018を開催～

- 遠賀川や遠賀川河口堰、遠賀川多自然魚道公園といった様々な題材を、芦屋東小学校4年生が5月から12月の総合学習35時限を活用して学習
- 学習は遠賀川多自然魚道公園整備からのつながりである、芦屋東小学校、九州工業大学環境デザイン研究室（伊東啓太郎研究室）と遠賀川河川事務所が協働で実施
- シンポジウムは子どもたちが自ら考え・調べたことをポスターセッション形式で発表

- ・ 芦屋東小学校では平成27年より、遠賀川河口堰並びに遠賀川魚道公園の自然環境を活用した環境学習を行っています。
- ・ 子どもたちは遠賀川と自分の生活とのつながりや、魚道公園の自然環境について学びました。
- ・ 4年目の今回は、30名の子どもたち一人一人が興味関心のあるものについて調べるために、子どもたち自ら「生き物班」「遠賀川班」「河口堰班」「魚道の役割班」の4つの班をつくり、分かれて活動を行いました。
- ・ 詳細な内容は別紙をご確認下さい。

【問合せ先】

九州地方整備局 遠賀川河川事務所

河川環境課長 野 呂（内線：361）

河川環境課河川環境係長 江 藤（内線：362）

電話番号：0949-22-1830

FAX 番号：0949-22-1834

【同時発表記者クラブ】 ■直方地区 ■飯塚地区 ■田川地区 ■北九州地区

もっと知ろう！私たちの遠賀川

シンポジウム 2018

12月7日(金) 10:00~12:00
芦屋東小学校体育館

芦屋東小学校では、2008年から計画・設計が進められてきた遠賀川多自然魚道公園を活用し、環境学習を行っています。児童たちは、総合の学習の時間の中で、芦屋東小学校・芦屋町・国土交通省遠賀川河川事務所・九州工業大学環境デザイン研究室のみなさんと一緒に、環境学習を行ってきました。

本シンポジウムは児童たちが一年間学習した内容をみなさんに伝えるためのものです。児童たちの一年間の成果をぜひ見に来てください。



河口堰見学



生き物探し



調査内容・方法決め



各班の調査内容の発表

当日のスケジュール

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| 10:00 | はじめに
芦屋東小学校 校長 森山真奈美 | 10:40 | ポスター発表 |
| 10:05 | 魚道公園ができるまでとこれからの課題
九州工業大学 教授 伊東啓太郎 | 11:35 | まとめ |
| 10:20 | 一年間の振り返り
九州工業大学 学部4年 塩手健斗 | 11:50 | 環境学習を通じた児童たちの様子について
芦屋東小学校 4年1組担任 野見山千寿代 |
| 10:30 | 芦屋町と遠賀川
芦屋町環境住宅課 | 11:55 | 児童たちの発表を聞いて
芦屋町教育委員会 |

会場

芦屋東小学校体育館
〒807-0132
福岡県遠賀郡芦屋町浜口町五番五号
☎093-223-3381



共催

芦屋東小学校
国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所
国立大学法人 九州工業大学 環境デザイン研究室

後援

芦屋町
芦屋町教育委員会

【環境学習について】

環境学習では、「自分で調べる・考える」「みんなで話し合う」「みんなに伝える」ことを意識して、私たちの生活と遠賀川多自然魚道公園の自然環境や遠賀川、河口堰との関わりについて勉強してきました。児童たちは自分たちの興味に合わせ、生き物班、遠賀川班、河口堰班、魚道の役割班の四つの班に分かれ、活動を行ってきました。その中で、自分たちで考え、みんなで話し合い、自分たちの疑問を解決するためにどうやって調べるかを決め、勉強してきました。今回のシンポジウムは自分たちで調べたことを「みんなに伝える」場となっております。

生き物班



生き物と生き物が生息する環境にどのようなつながりがあるのかをテーマとし、魚道公園の草地と魚道の生き物探しをするなどして、調査を行いました。発表では、生き物の棲みやすい場所や色々な環境があることの重要性について発表します。

遠賀川班



遠賀川班では、「遠賀川のゴミと水をきれいにするために私たちができることを考えよう」の目標のもと、ゴミ拾い調査にインタビュー、水質実験調査を行いました。シンポジウムでは、ゴミと水質と自分達の生活のつながりについて発表します。

河口堰班



河口堰と人・生き物の暮らしの関わりを知るために、河口堰の塔の中に入ったり、働いている人にインタビューするなどして、学習してきました。発表では、河口堰は何のため、誰のためにあるのかについてこれまで学んできたことを発表します。

魚道の役割班



「魚道ってどんな場所だろう?」「なんで2つあるんだろう?」児童が自分で答えを予測し、実験やインタビュー調査を通じて遠賀川の二つの魚道の違いについて調べました。シンポジウムでは、それぞれの魚道の役割・成り立ちについて発表します。

【遠賀川多自然魚道とは】



施工前の様子 (2008年)



施工途中の様子 (2012年)



現在の魚道公園の様子 (2018年)

2008年、遠賀川最下流に位置する河口堰には魚道が併設されていましたが、泳ぐ力が弱い魚にとっては、遡上しづらいといった問題点がありました。そこで、「生きものと人をつなぐゆるやかな水辺空間の再生」をコンセプトに、福岡県遠賀郡芦屋町、国土交通省九州地方整備局、九州工業大学環境デザイン研究室の協働による遠賀川多自然魚道プロジェクトが立ち上げられました。

2009年より住民ワークショップを行い、2012年より改良工事を開始しました。2013年6月に工事が完了し、現在では地域の方々に活用されています。